

競技要項 スノーシューイング

1.競技種目

(1)個人種目

- ①50m(ビギナー種目)
- ②100m
- ③400m
- ④800m
- ⑤1600m

(2)リレー

- ⑥4×100m リレー

2.会 場

沼尻スキー場

3.競技ルール

公式スペシャルオリンピックス冬季スポーツルール(2010年1月改訂版)による。ただし、本大会ルール委員会によって定められた細則を優先する。

4.エントリー

1人個人種目1種目およびリレー1種目のエントリーとする。

5.ディビジョニング及びスペシャルオリンピック精神の遵守

アスリートとコーチは、公式スペシャルオリンピックスポーツルール(2010年1月改訂版)第1章総則セクションIをよく理解しておくこと。

6.競技方法

1)コース設定

- ・ 50m、100m は直線コースを使用する。
- ・ 400m、800m、4×100m リレーは 400mトラックを使用する。
- ・ 1600m は、1周 1km の周回コースと 400mトラックを使用する。

2)レースの進行

(1)スタートについて

- ・ レースのスタート時、スノーシューの両足のつま先部分は、雪上にカラーもしくは何らかのマークで表示されたスタートラインの後方になければならない。
- ・ 全ての補助(ブロックや穴のようなスタート時にアスリートに有利になるようなもの)は禁止とする。
- ・ 全ての競技において、一斉スタートとする。時間差のスタートは行わない。

- ・ アスリートは、「Racer(位置について)・・・Ready(用意)・・・Go(ゴー)」の合図でスタート地点を出発する。
- ・ スタートに失敗した場合は、再スタートとする。

(2)レースについて

- ・ 大会委員、およびレース参加のアスリートのみがコースへの立ち入りを認められる。
- ・ 競技中、アスリートが転んだり、スノーシューや金具の再装着に手間取ったり、コースを外れた場合は2分間の修正時間が与えられる。2分以内でレースが再開できない場合、何らかの補助を受けた場合は、失格とする。2分の計測は近くのフィールド審判の判断によるものとする。
- ・ 競技者はスノーシューを両足につけずに3m以上進んではならない。

(3)ゴールについて

- ・ アスリートの胴体がゴールライン上に垂直になった時点でゴールとする。胴体は頭、首、腕、脚、手、足先と識別される。
- ・ ゴールラインを越える際、両足にスノーシューをはいていなければならない。

(4)リレーについて

- ・ アスリートはタッチゾーン内でチームメイトに触れなければならない。
- ・ タッチゾーンの長さは 20m とする。
- ・ 両アスリートとも、中継時にはタッチゾーン内にいること。
- ・ 正しい中継は、前走のアスリートが、次走のアスリートの身体の一部に手で触れることにより行われる。着衣によって手、身体が覆われている場合も、手や身体の一部とみなす。ただし、スノーシューは身体の一部とはみなさない。
- ・ リレーチームは 4 人の競技者から成り、4 人より少ないチームは棄権しなければならない。

3)競技記録および順位

- ・ すべての種目で、予選の競技結果をもとに決勝のディビジョニングを行う。予選競技は 1 回とする。
- ・ 決勝の競技も 1 回とし、その記録が表彰対象となる。

4)失格

- ・ 不当な、もしくは接近した追い越し、または他のアスリートの邪魔をした場合。
- ・ 他のアスリートの通過妨害をした場合。
- ・ コースの不当な通過をした場合(決められたコースから離れた場合)。
- ・ スタートで2度の失敗をした場合。
- ・ タッチゾーンでの不当な中継をした場合(リレーのみ)。
- ・ 2分以内での競技再開に失敗した場合。
- ・ スノーシューを両足につけずに3m以上進んだ場合。
- ・ スノーシューを両足につけずにゴールラインを越えた場合。
- ・ レース中にあらゆる補助を受けた場合。
- ・ ルール委員会が失格と判断した場合。

5) 服装・用具

- ・ スノーシュー本体は、20.5cm × 64cm (8 インチ × 25 インチ) 以上でなければならない。
体格や体力の面から、上記サイズのもの使用が難しい場合に限り、20cm × 53cm 以上でも可とする。その場合は、エントリー書類提出時に申告しなければならない。
- ・ アスリートが使用する全てのスノーシューは、競技前に競技役員によって計測、並びにチェックを受けなければならない。
- ・ つま先とかかとの「かぎづめ」は、市販のものを勧める。なお、付属のスパイクは、いかなるものであっても取りつける事が禁止されている。
- ・ スノーシューはフレームと、紐、硬い板で構成される。
- ・ 足は、直接マウント止めの方法でスノーシューに固定しなければならない。
- ・ 履物は運動靴、ランニングシューズ、ハイキングシューズ、スノーブーツを履いてよい。しかし、これだけに限らないものとする。
- ・ ポールの使用は任意とする。
- ・ 競技の間は、役員からビブナンバーが見えるようにしなければならない。

6) その他

競技の運営については、天候や雪の状態などにより、競技委員長を中心として判断し変更することがある。

7. 抗議

ヘッドコーチのみ(欠席時は他の登録コーチ)、最初のリザルト掲示後 15 分以内に所定の用紙に必要事項を記入し抗議できる。

8. その他

本ルールおよび競技要項に定めない事項は、その都度ルール委員会が決定する。

9. 競技日程

2月11日(土) 開始式・予選競技
12日(日) 決勝・表彰式